

岐阜県内に52教場を展開するリード進学塾



# オンライン英会話OLECOの導入が リード進学塾にもたらした 「学力向上」以外のものとは？



OLECO 受講の様子



英語の4技能習得のため、オンライン英会話OLECO（株式会社スタディラボ・地福武史代表）を導入する塾が増えている。岐阜県内に52教場を展開するリード進学塾（プロジェクトリーズ株式会社・水野叔何代表）も導入塾の一つだが、ここは「OLECOを全国で一番活用している塾」としてスタディラボが新規導入塾に見学を勧めることもあるほどだ。

導入から運用方法の設計までを担ったリード進学塾の石田栄治専務に活用方法を伺ったところ、導入コストや人件費を抑える工夫のみならず、OLECO導入がもたらした様々な効果についても余すことなく語ってくれた。



(株)プロジェクトリーズ(リード進学塾)  
石田栄治 専務取締役

し合いがなされておられ、同時に2月よりZoomを使い出していました。世間のほとんどがZoomの存在すら知らなかった頃に、です。

私は2019年の11月に東京都千代田区の麹町中学校で開催されていた教育イノベーションのためのグローバルカンファレンス(Convention x Summit: Eドベーションサミット)に参加しており、そこで初めてZoomに触れました。インターフェイスを含め好感を持ったものの、「学習塾とは親和性が低く、普及することはないな」と捉えていました。導入当初は、ICT慣れして、かつ受験を控えた時期に休校に苦しんでいる高校生とのコミュニケーションに利用しました。感染状況や世論の動向を見つつ春期講習は対面で行いましたが、岐阜県にも緊急事態宣言が出ることを見越して、全社員がZoomを使うように準備宣言後すぐ、オンラインへ切り替えることができました。

**全校舎に導入直後、コロナ禍！OLECO導入のためのインフラでオンラインへスムーズに移行**

当塾がOLECOを導入したのは2018年です。インフラ整備やタブレット準備の関係から44教場(当時)への一斉導入は難しく、数校舎ずつ3カ年にわたる導入計画を立てました。全教室への導入が完了した直後、新型コロナウイルスによる学校の二斉休校が決まりましたが、その少し前から「岐阜県内でも感染者が出たらどうするか?」といった話



スタディラボ 地福武史代表(左)と石田栄治専務

この頃にはオンラインに移行しようにも世界中でタブレットが不足し、回線の工事もなかなか進まなかったと聞いています。OLECO以前に導入していた別のICT教材の恩恵もあり、当塾の生徒たちには圧倒的なICTリテラシーがあり、各家庭にパソコンがありました。奇しくもOLECOの導入に伴って全校舎のWi-Fi環境が整い、タブレットも揃っていたことで、オンラインへの移行は非常にスムーズでした。しかし、それでも既存の映像授業配信や通信制講座などの家庭で完結するコンテンツの方がコスト面でも安全性でも圧倒的に有利です。すでにZoomに飽きることを想定し、集団塾のオンライン授業に対しどれほど付加価値を

高められるかが課題でした。そのため、配信する授業動画の質を上げようと2カ所に専用のスタジオを作り、授業動画の質と量を高めました。次にスクールタクト(株式会社コードタクト)を導入し、家庭学習の遠隔管理を行うようにしました。いずれもゴールデンウィークが終わる頃には完了しています。

学校の休校中は社員の勤務時間を10時から19時に変更し、朝からオンライン授業、お昼を挟んで夕方までオンライン自習室を開催し、個別の学習管理を行いました。本来学校に行っていた夕方以降の時間は家族で過ごすこともできませんし、不安を抱え出社してもらった社員にとっても夜は早めに帰宅できる方がいいと考えたからです。また、4、5月は数回しか通塾していないため、設備利用料など維持費を全額返金対応しました。おかげでオンラインだったこの2カ月校舎へのクレームはなく、多くの感謝の言葉を頂きました。コロナ禍でも使命感を持ち出勤をしてくれる社員には心の支えになったと思います。その評価もあり、6月頃から生徒が戻り始め、7月には生徒数が昨年を上回るほど回復することができました。

**OLECOの在宅利用解禁で保護者にも好感触**

OLECOが在宅でできる環境をいち早く整えてもらえたことは非常にありがたかったです。学校での学びが止まっている中、少し言い方は悪いですが、塾がどれほど先進的かというのを見せつけることができたと思っ

**対面授業とオンラインの併用で退塾者大幅減**

現在では感染症対策をしつつ対面授業を行っています。オンラインの受講環境も整えてあり、どちらでもOK。今でもクラスに1人くらいはオンライン受講の生徒がいます。体調不良か、親が送迎できないのか、理由は様々ですがスクールタクトとオンライン授業、授業動画の配信が「学びを止めない」ことへとつながり、以前なら欠席扱いだったケースも繋がるのが可能になりました。また、欠席者への個別対応も選択肢が増え、個別最適化したサポートがしやすくなりました。結果として休む、フォロワーが不十分で退塾するという悪循環は急激に減少しました。

それでも退塾は0にはなりません。2カ月に1度は校長を集めた退塾報告会を開いています。退塾理由を正直に話せば褒めるようにし、失敗や恥も報告して皆と共有すれば責めません。それは、失敗を共有するこ

**高校生にもOLECO活用で単価アップを**

OLECOを使ってきた生徒が高校生になっても続けたという声が上がっています。必ずしも受験目的だけでなく、英語への自信や学習意欲そのものに繋がっていると感じています。高校生の受講率が伸びれば、科目が減り進級時に落ちる客単価の向上にも寄与できます。OLECOは低学年から高校生まで対応可で、英検やGTECなどの対策にもなります。今後もスタディラボさんの商品群には大いに期待しています。

オンライン英会話OLECO  
スクールタクトの  
お問い合わせ  
(株)スタディラボ  
http://studylab.co.jp/  
TEL.03-6902-1151